

## 明治 150 年企画 “CNCP 通信特集” に当たって

CNCP シンクタンクチーム  
明治 150 年企画ワーキング  
常務理事 辻田 満

平成 30 年（2018 年）が明治改元の布告から満 150 年目に当たるので、政府では「明治 150 年関連施策の推進について」を取りまとめ活動を開始しました。 施策の方向性として

○明治以降の歩みを次世代に遺すこと

○明治の精神に学び、さらに飛躍する国を目指すこと

となっています。CNCP では、この活動と連動するものではありませんが、土木の歴史と文化を皆さんと一緒に議論する機会にしたいと考えました。

そこで、CNCP の定常的な事業に加え、新たに「CNCP 活動を面白くしていく取り組み」として、会員・関係者が身近な土木の歴史と文化に関心を持っていただき情報交流するという“お楽しみプロジェクト”を目指すべく、CNCP シンクタンクチームに 1 年間の期間限定で「明治 150 年企画ワーキング」を立ち上げました。

土木の世界では、土木という言葉の使用や学問としての土木工学がスタートしたのは、まさに明治期からであり、土木という言葉が案外知られていないのも歴史の浅さにあるのかもしれない。

そのことが社会資本整備の重要性や建設業の活動が、なかなか理解されない遠因になっているとも考えられます。そのため土木の歴史と文化を私たち自身が再認識するとともに、未だ地域に埋もれている多くの事蹟を発掘して整理していくことが出来れば、土木・どぼく・シビルエンジニアリングへの国民の理解促進にも役立っていくのではと大いに期待するものです。

とはいいつつ、このような活動はかなり広範で労力を要するので、長期的な課題としてとらえ、29 年度は、CNCP 通信への投稿記事の連載を中心に、出来る範囲での運動にしようと思います。このため、通常であればワーキングチームで企画の具体化に向けた作業を進めた上での絞った活動をして行くのが常道ですが、今回はそのような進め方ではなく、ワーキングチームは、“フリーディスカッションの場”として活用し、参加者の負担にならないようにしたうえで、広くメンバーを募っていこうと思います。そしてこれが CNCP 自体の活性化の起爆剤となり、ひいては CNCP サポーターの拡大につながることを期待しています。

当面は CNCP 通信に「明治 150 年企画特集」を設けて関連記事を掲載して参ります。しばらくはワーキングメンバーが記事を投稿しますが、その記事をお読みいただいた読者からの自由投稿を歓迎します。さらにワーキングはメンバーを固定せずに公開しますので、自由に参加されることを期待しています。CNCP 通信「明治 150 年企画特集」にご投稿いただける方は CNCP 事業化推進部門担当理事（辻田）までご連絡ください。問い合わせも全て下記のメールとさせていただきます。

\*メールアドレス： [tsujita@alpha.ocn.ne.jp](mailto:tsujita@alpha.ocn.ne.jp)